

■【トピックス】
米中貿易戦争！



米国と中国の貿易戦争がエスカレートしています。米国が中国からの輸入に関税を掛ければ、中国も対抗して同等の関税を掛けます。今のところお互いに妥協する姿勢は見せていませんので着地点もみえません。

中国から米国に対する輸出額の方が、米国から中国に対する輸出額を大きく上回るため、このままでは中国の方が不利であるといわれています。いずれにしても世界経済に影響がでそうです。

■【ビジネス・アイ】
監査報告書の透明化！

- 社長 「最近、スポーツ界の不祥事が多いけど、一時よく聞いた上場会社の粉飾決算は聞かなくなつたね」
- 花野 「そうですね。コーポレート・ガバナンスも厳しくなりましたから、その効果もあったのでしょうか」
- 社長 「公認会計士の監査も厳しくいわれていたね」
- 花野 「はい、それを受けて公認会計士業界も改革を行っています。その一つに監査報告書の透明化の動きがあります」
- 社長 「その監査報告書の透明化ってなに？」
- 花野 「公認会計士が企業の財務諸表に対する意見を表明する監査報告書なんですけど、これまでは短文式といって、標準的な記載文言で結論だけ記載していたのです」
- 社長 「それだと何か問題があるの？」
- 花野 「それだと監査の結論にいたるプロセスが分からないということで、監査上の主要な事項(KAM)記載することになる予定です」
- 社長 「そのKAMが記載されると何がかわるの？」
- 花野 「監査人が、何が企業の監査上のリスクとして監査を行ったか、その結果どうだったか分かるようになります」
- 社長 「それはいいことだね」
- 花野 「そうですね。でも経営者としては、企業のリスクがさらされる訳ですから、嫌がる経営者もいるかもしれませんね」
- 社長 「そういう見方もあるかもしれないね」

■【今月のキーワード】
KAM (Key Audit Matters)

監査上の主要な事項(KAM)とは、当年度の財務諸表の監査において、監査人が職業的専門家として最も重要であると判断した事項のことをいい、監査人が統治責任者(監査役等)とコミュニケーションを行った事項から選択されます。監査報告書の透明化の一環として、監査報告書上で開示され、KAMと決定された理由と監査上の対処を記載します。英国ではすでに導入されており、EUでも今年度から導入されます。わが国では2021年3月期から適用される予定ですが、2020年3月期からの早期適用も認められる予定です。

■【今月の1冊】
『世界のビズ初リットが身につける教養 西洋美術史』
木村泰司 著
ダイヤモンド社 ¥1600

美術館で西洋絵画の企画展が開催されると、名画を観ては感動していましたが、これまでは何となく自分の感覚で好きだなという感じで観ていました。

しかし、この本を読んで、絵画の背景や歴史が分かるようになると、より深く名画を理解できるようになりました。名画もその時代の政治状況や経済とは無関係ではられません。より深く世界を知るための美術史です。



■【編集後記】

8月の休みに恒例の石垣島のダイビングへ行ってきました。直前の名古屋の気温は38度でしたが、到着した石垣島の気温は、雨ということもあり26度と10度以上低く肌寒く感じました。南の島に行ったのに避暑に行ったようでしたね。

『経営のセカンド・オピニオン』vol.138 (毎月1日発行)

●定価：2,400円/年 ●発行日：2018.9.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>